

◆生産性の高い競争力に富んだ農業の育成を求める意見書

土地改良事業は、生産性の高い水田農業の基盤づくりや、畑地かんがい施設の整備などを行っており、農地や農村を災害から守るとともに、農業地域をつくっていく大変重要な事業である。今後、地域農業の持続的発展を図る上で積極的に推進する必要がある。事業予算の大幅な削減は到底容認できるものではない。よって政府においては、土地改良事業予算の復活と、地域の実情に沿った農業施策の展開を推し進めるよう強く求めるものである。

【提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・農林水産大臣・財務大臣】

◆子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

子宮頸がんの原因のほとんどが、ヒトパピローマウイルス（HPV）による感染であり、昨年、日本でこのHPV感染を予防するワクチンが承認されたことから、下記事項の早期実現を強く求めるものである。

1 女性の一生においてHPV感染の可能性が高いこと、また予防可能ながんであることに鑑み、子宮頸がんの予防推進を図るため、ワクチン接種への公費助成を行うこと。

【提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣】

◆未就職新卒者の支援策実施を求める意見書

若者の厳しい雇用情勢に対応するため、特に、未就職新卒者の支援策を早急に実施するように、政府に対して以下の項目を強く要請する。

- 1 大企業を中心とした「新卒優先採用」という雇用慣行や就職活動の早期化を見直し、卒業後3年間は「新卒」扱いにするなど、企業、大学の間で新しいルールを策定すること。
- 2 大企業志向を強める学生と、人材不足の中小企業を結び付けるための情報提供を行う「政府版中小企業就活応援ナビ」を創設するなど、雇用のミスマッチを解消すること。

【提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣・文部科学大臣・経済産業大臣】

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

Tsuchiura City Assembly

6号国道（バイパス）上高津・常名間の4車線化進捗状況について



矢口 迪夫 議員

6号国道の上高津・常名間については、朝夕の混雑が毎日続いており、我々土浦市民は1日も早い4車線化を望んでいる。そこで、本年度は4車線の工事に対して予算はついたのか、また4車線内の道路に掛かる総工事費と県の負担金額を伺う。

これまで、国土交通大臣や県選出の国会議員に對



6号国道（常名付近）

し、本市長と正副議長による積極的な要望の結果、平成22年度の土浦バイパス予算については7千500万円となった。その事業内容は、常陸河川国道事務所によると、花室川を横断する新東橋の橋梁設計、板谷付近の道路詳細設計を実施することである。平成23年度の予定は、橋梁及び道路の詳細設計のほか、一部工事を実施すると伺っている。また、全体工事費については87億円、県の直轄負担金は、その3分の1の29億円とすることである。今後も引き続き要望活動を強化してまいりたい。

土浦市の名誉市民について



盛 良雄 議員

土浦市名誉市民条例は昭和57年6月に制定されているが、本条例制定以降、名誉市民該当者について検討、または調査研究されたことはあるか伺う。

- 名譽市民については1度、平成13年第2回定例会時に、常総学院高等学校野球部監督の木内氏に対する、名誉市民もしくは市民栄誉賞的な特別表彰等を検討することについての質問をいただき、検討した経緯がある。その後、教育、文化、体育及び道義の向上等の観点から幅広く検討を重ね、木内氏に対し、平成14年には土浦市一般表彰条例に基づく一般表彰を行い、また翌年には特別功労表彰を授与するに至っている。
- （掲載以外の質問事項）
- 1 土浦市を広報する一方策について
 - 3 防災行政無線について